

勢小だより

平成29年2月24日
勢和小学校



アンケート調査へのご協力ありがとうございました！

先月実施しました保護者アンケート調査の集計結果をお知らせします。

昨年度と同様、ほぼ全員に近い回収率であったことに深く感謝申し上げます。結果と考察は次の通りです。

保護者アンケート 回答 A：よくあてはまる B：あてはまる C：あまりあてはまらない D：全くあてはまらない

	アンケート項目	回答(人数)				A+Bの割合
		A	B	C	D	A+B
1	お子さんは、学校へ行くのを楽しみにしていますか。	126	113	20	1	91.9%
2	学校の子どもたちへの学習指導は適切に行っていると思いますか。(内容・量等)	88	153	19	1	92.3%
3	学校は、お子さんの学習能力や努力を適切に評価していますか。	113	135	11	0	95.8%
4	学校では、友達とのつながりを大切にする教育をしていますか。	89	143	27	1	89.2%
5	学校は、学校でのお子さんの様子や教師の思いを、懇談や通信で伝えていますか。	96	124	36	4	84.6%
6	学校に、お子さんのことで気軽に相談できますか。	87	129	41	3	83.1%
7	学校は、子どもたちへの生活指導を適切にしていますか。(通学団、遊び方など)	73	150	33	3	86.1%
8	家庭で、お子さんと会話をしていますか。	158	90	12	0	95.4%
9	家庭でお子さんが、がんばったことや一生懸命できたことをほめていますか。	135	114	11	0	95.8%
10	お子さんは、悩みがあるときに、家の人に話していますか。	105	121	30	3	87.3%
11	お子さんは、家族にあいさつをしていますか。	154	87	20	0	92.3%
12	お子さんは、地域の人にあいさつをしていますか。	123	103	33	2	86.6%
13	お子さんは、自分から家庭学習を行う習慣ができていますか。	95	110	50	5	78.8%
14	お子さんは、朝食をとって登校していますか。	223	30	7	0	97.3%
15	お子さんは、睡眠を十分とることができていますか。	140	92	28	0	89.2%

◎『よくあてはまる』+『あてはまる』が90%以上・・・15項目中7項目 ※数字は質問番号

1：学校が楽しみ 2：学習指導は適切 3：学校は適切に評価 8：家庭で子どもと会話

9：家庭で子どもをほめている 11：家族にあいさつ 14：朝食をとって登校

●『よくあてはまる』+『あてはまる』が85%未満・・・15項目中3項目

5：学校はお子さんの様子や教師の思いを伝えている 6：学校に気軽に相談 13：家庭学習の習慣がついている

【考察及び対応】

< 1～15項目 >

全体としては、半数近くの項目でよい評価をいただき、私たちにとってたいへん大きな励みとなりました。

ただ、肯定的なご意見が85%を下回るものが3項目あります。ここから見えてくる課題は、1つには「学校はもっと子どもたちの様子を保護者に伝え、もっと気軽に相談できる体制や対応に努める」こと。2つには「家庭学習と連携した学力向上の取り組みを進める」ことだと考えます。

この2つは、保護者の方々からの強い願いであると同時に、学校への期待であると考えました。

次年度に向けての具体的な計画にこれらの課題を位置付け、さらに努力していきたいと思います。

< 記述によるご意見 >

記述していただいたことにつきましては、学校運営上の貴重なご意見として各担当で検討し、職員で共有いたしました。それぞれのお子さんにかかわるような個別のご質問ご要望につきましては、(お名前を書いていただいた方)可能な限り直接お応えするよういたします。全体にかかるものにつきましては、以下のようにお応えさせていただきますが、紙面の関係で不十分なところもあるかと思います。その場合は、遠慮なく学校にお問い合わせください。

○ 親が参加しなくてもよい土曜日の授業を実施してほしい

平成29年度は、土曜日の授業そのものを4回に減らしました。土曜日の授業が子どもたちや保護者の皆様にとって意義ある時間となるよう、毎年見直しを行っていきます。

○ **ホームページの更新をお願いします**
 本年度、学校ホームページの意義や運用方法・運用コスト等について根本から見直し、新しい学校ホームページ開設に向けて準備を進めてきました。諸事情で開設が遅れてしまい申し訳ありません。工事中の箇所もありますが3月にはスタートします。

○ **3学期制を希望します**
 2学期制につきましては様々なご意見があると承知しています。2学期制と3学期制のどちらもメリットとデメリットがあります。多気町教育委員会ではその両方を検討して、町内で統一して現在の2学期制を行っています。今後も、その成果と課題を十分検討して必要に応じて改善していきたいと思っています。

○ **登下校時のマナーが悪く、大人の言うことを聞いてくれないので、通学団の子どもの指導をもっとしてほしい**
 朝の交通安全ボランティアさんの毎日の声掛けで、最近では、ほとんどの子どもたちが通学団でまとまって登校できるようになってきました。ただ、中には気持ちの良い挨拶ができなかったり、大人の人の言うことをきかなかったりする子どもがいるということも何度か聞かせていただきました。スクールバスについては、必要に応じて職員が同乗し子どもたちの指導をしてきました。今後も、指導が必要な通学団の子どもたちを集めて注意をする・各学級での指導を続ける等の取り組みをしっかりとしていきたいと思ひます。引き続き地域での子どもたちへの見守り・ご指導をよろしくお願ひいたします。

○ **ヘルメットをかぶらない子が多く指導してほしい**
 職員が見かけてヘルメットをかぶるよう注意することもありました。近年交通量が増え、危険箇所も増加していますので、夏休み冬休み春休みなどの長期休業の前には、各学級や全校集会で呼びかけをしています。今後も交通安全指導を徹底していきたいと思ひます。来年度は、外部関係機関にも協力を要請して交通安全教室を実施する予定です。

○ **インフルエンザの予防をもっとしてほしい**
 本年度は、2月にインフルエンザによる学校閉鎖をせざるを得ない事態になりました。予防については、スクールバスでのマスク着用、集会をひかえる、うがい手洗いの徹底、嘔吐物等の適切な処理と消毒等、できるだけことは取り組んできました。インフルエンザの流行の時期は、保健だより等も参考にさせていただき、ご家庭でも「かからない・うつさない」ことにご協願ひ願ひします。

○ **子ども同士のトラブルについて**
 子ども同士の間で、けがや友達関係のこじれ等があった場合は、その対処や解決を最優先します。その後、必要に応じて、双方の保護者の方へ報告させていただきます。ほとんどの場合は、保護者の方同士でも連絡を取り合っていたいただき、家でもお子さんに話をしていたいただいています。また、その時のお子さんの様子も学校にお伝えいただき、学校と家庭が連携して対応していきたいと考えています。

○ **運動会を日曜日にしてほしい**
 日曜開催の場合は、予備日が1週間後の土・日か月曜日になってしまいます。運動会を1週間延期すると、準備物をそのまま1週間出したままにせざるを得ないことや、子どもたちの演技も忘れないように練習を1週間続けていかなければなりません。また、時期も町等の催し物の関係で、どうしても9月の秋分の日あたりの土曜日の開催になりますのでご理解願ひします。

児童アンケート 回答 A：よくあてはまる B：あてはまる C：あまりあてはまらない D：全くあてはまらない

アンケート項目	回答(人数)				A+Bの割合
	A	B	C	D	A+B
1 学校は楽しいですか。	162	76	19	9	89.5%
2 あなたはこまった時に、先生や家族など大人のの人に話していますか。	121	90	41	13	79.6%
3 授業はわかりやすいですか。	134	96	27	0	86.5%
4 人の話を、しっかりと聞くことができますか。	106	110	41	9	81.2%
5 人のいやなことを言ったり、したりしないように気を付けていますか。	137	92	30	9	86.4%
6 あなたは、いっしょうけんめいできたことや、がんばったことがありますか。	194	57	8	6	94.4%
7 友だちが、やさしいな、がんばっているなど思うことがありますか。	211	44	8	7	95.9%
8 だれとでもあいさつすることができますか。	154	82	27	3	88.7%
9 あなたは、安全に気をつけて、きちんと並んで登下校することができますか。	155	84	23	3	89.8%

◎『よくあてはまる』+『あてはまる』が90%以上・・・9項目中2項目 ※数字は質問番号
 6：一所懸命できたことや頑張ったことがある 7：友達が、やさしいな、頑張っているなど思うことがある。

●『よくあてはまる』+『あてはまる』が85%未満・・・9項目中2項目
 2：困った時に、先生や家族など大人のの人に相談できる 4：人の話をしっかりと聞く

【考察及び対応】

全体を見ると、学校生活の様々な場面で、「友達とかかわり合いながら一所懸命頑張っている子」が多い状況です。ただ、ほぼ2割に近い子どもたちが、「人の話をしっかりと聞くことができなかった」、「困った時に大人のの人に相談できない」としています。特に、「困った時に相談できる大人がいない」とする子どもに対しては、大人の側からすると「言ってくれないとわからない」となりがちで、子どもたちの本音のサインを見逃してしまうこととなります。

子どもたちの困りごとは、「勉強がわからない」というのもあるでしょうが、ほとんどは友達関係等の「人と人との関係づくり」です。担任だけでなく、職員全員で一人ひとりの子どもとの「対話」を大切にするとともに、保護者の皆様ともお子さんの様子を共有させていただき、どの子も安心して生活できるよう、取り組んでいきます。